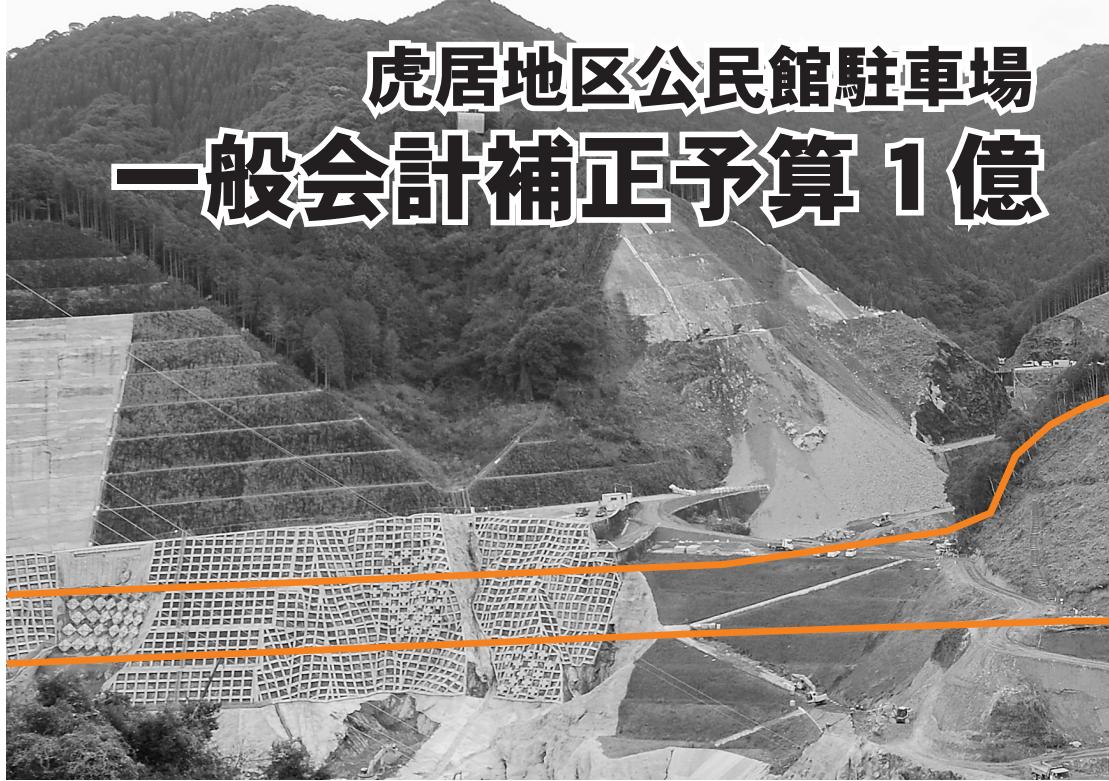


虎居地区公民館駐車場 一般会計補正予算 1 億



土地の譲渡について

《全会一致で可決》

鶴田ダム下流掘削法面工事が実施されることに伴い、対象事業用地を国有に有償譲渡します。

（譲渡金額）
1万9292.
2347万1084円
（譲渡年月日）
49m²

平成21年12月4日

(譲渡の相手方)

鹿児島県薩摩川内市
東大路町20番2号
分任支出負担行為担当官
九州地方整備局川内川
河川事務所長 是沢 豪

(主な質疑)

問 対象地域の立木補償についての取扱いは。

答 伐採補償費として、国は約120万円で積算しましたが、現地が急斜地であるため、町は伐採費用として約400万円の費用負担が見込まれることから無償譲渡としま

各会計の決算状況（形式収支）

区分		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		149億5812万円	139億4928万円	10億 884万円
特別会計	国民健康保険事業	35億4252万円	33億4804万円	1億9448万円
	老人保健医療	5億2970万円	5億2429万円	541万円
	後期高齢者医療	2億9431万円	2億9127万円	304万円
	介護保険事業	25億7105万円	25億2727万円	4378万円
	介護サービス事業	1778万円	1769万円	9万円
	農業集落排水事業	5023万円	4730万円	293万円
企業会計	上水道事業	1億5050万円	1億2253万円	2797万円
	簡易水道事業	2億5217万円	2億3500万円	1717万円
合計		223億6638万円	210億6267万円	13億 371万円

平成20年度さつま町歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）・水道及び簡易水道事業会計決算認定は、審査を特別委員会に付託し、11月2日～9日の土日祝日を除く5日間にわたり慎重に審査されました。12月4日の定例会初日に木下賢治委員長から審査の結果については、いずれの決算も認定すべきものとの報告がありました。

採決の結果、さつま町歳入歳出決算は、17対1（1人欠席）の賛成多数で、水道及び簡易水道事業会計決算は賛成全員で認定しました。

答 収納率が前年度を下回り厳しい状況であります。大半が生活困窮者であり納税折衝等を行い分割納付を受けながら、給与や不動産などの差押えについても検討しているが、滞納額の減少にはいたっておりません。

答 佐志ニユータウンなど48区画が未処分地となっており、ダイレクトメールやパンフレットを作成して販売促進の努力をしているが厳しい状況であります。定住促進のため、出来れば来年度において分譲価格等何らかの政策的な取り組みの検討を行います。

(主な質疑)

問 国民健康保険税の未収金対策は。

3 №20 さつま町議会だより